



青き楓

島高だより
平成21年8月号

(通巻第41号)
長崎県立島原高等学校
編集: 情報図書部

校長室から

「普通の高校生が勝ち取った日本一」

校長 辰田幸敏



この夏、今度は全国に「島高旋風」が吹き荒れた。玉竜旗高校剣道大会の女子団体優勝と男子3位、そして全国高総体(インターハイ)での剣道部女子団体優勝、個人戦は剣道女子で小森田さんの準優勝、レスリングの村上君が優勝、馬場君が3位である。剣道部女子は春の魁星旗に次いで4大会の3つを制覇した。校内で見る、ごく普通の高校生のどこにそんな力があるのだろうか。技術力とともに彼らの精神力と自己管理力に驚くばかりである。



奈良県を中心に開催された近畿まほろば高総体に、本校から県高総体で優勝した剣道部男女、レスリング部、弓道部男子、ソフトテニス部男子の5部と個人戦にソフトテニス部女子1組と陸上部から1名出場した。柿原教頭と私が前半と後半に分かれて応援に出向いた。

8/4(火)、伊丹空港から大阪市の剣道会場に直行した。男子団体予選リーグと男女の個人戦に各1名出場したが、男子が微妙な判定で予想外の予選敗退してしまった。これが影響したのか、男子個人戦の大坪君も3回戦で敗退した。いよいよ明日がわが島高剣道部女子にとって、3つ目、4つ目の「日本一」をめざし大一番である。

決勝トーナメント1回戦の新潟商業高校には手こずり少々心配したが、その後は決勝まで圧倒的勝利である。特に、決勝のPL学園高校戦は副将までで勝負がついてしまったが、大将は気を緩めるでもなく最後まで冷静に自分の剣道を貫き、島高剣道の真髄を会場に見せてくれた。私は初めて日本一の瞬間に立ち会い、もっと興奮するかと思っていたが、あまりの強さのためか、県高総体の時と比べ自分でも意外なくらい冷静でいられた。むしろ、日ごろ冷静な渡邊監督の方が副将で初優勝が決まった瞬間から一点をじっと見つめ、感涙しているようだった。表彰式の前、渡邊監督と握手をした時は私も胸にジーンとくるものがあり、お祝いの言葉に詰まり、手を握るだけで何も言えなかった。

また、ソフトテニス部男子も準優勝した三重高校に2回戦で惜しくも敗れたが、島高魂を発揮し大健闘した。今回、残念ながら実力を十分発揮できなかった部や選手はこの悔しさを今後の生活の中で生かしてほしい。誰もがインターハイに出場できるものではない。しかし、それを為し得た君たちにとって、これは人生の大きな財産になるはずである。

今夏のインターハイで剣道女子とレスリングの村上君の2つの「日本一」の瞬間に立ち会うことができ、私にとってこれまでの人生で最良の夏になった。日本一の幸せ者である。

今年も多くの保護者や関西島高同窓会の方に力強く心温まる応援をしていただいた。生徒・保護者・同窓会等が一体となった「チーム島高」の伝統の力を改めて実感した。

みなさんの応援、ありがとうございました。そして、選手諸君、感動をありがとう!!

インターハイ 優勝 おめでとう!



剣道部女子 三冠達成

(全国高総体・玉竜旗・魁星旗)

主将 小森田渚

私達剣道部女子は、大阪で行われたインターハイで優勝することができました。このチームとする最後の大会に優勝することができ、大変うれしいです。

大会では、どの試合も落ち着いて自分達らしい剣道をする事ができました。決勝でも、仲間を信じて自分達の力を全て出すことができたと思います。

しかし、この優勝は私達だけの力ではできませんでした。私達の一番の理解者であり、どんな時も支え応援してくれる家族や、色々な場所で支えて下さっている多くの方々、友達、OBの方々や先生方、たくさんの人の支えでここまで頑張ってきました。

そして何より今まで教えて下さった渡邊先生の指導のおかげで勝つことができたと思っています。言葉では言い表せないくらい感謝しています。本当にありがとうございました。

またこれからも日々練習に励んでいくので応援よろしくお願ひします。



玉竜旗



まほろば総体



祝賀パレード

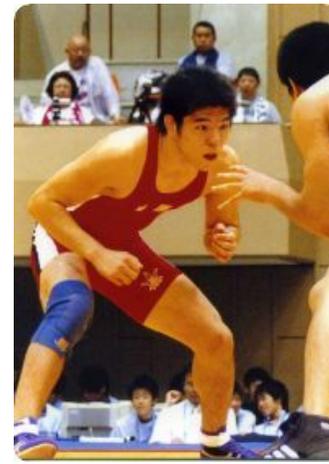
レスリング部

市庁舎内で報告会
剣道男女・レスリング部



主将 村上貴之

レスリング部です。今回のインターハイの成績は、団体戦ベスト16、個人戦村上優勝、馬場3位でした。団体戦では、秋田商業高校に3-4で敗れ、入賞を逃しました。悔しかったです。個人では入賞者が出たので良かったと思います。団体戦の入賞は後輩に任せたいと思います。今後は、国体や新人戦へと進んでいきますが、さらに良い結果を残していきたいように頑張っていきたいです。今回は、多くの方々に応援していただき、本当に感謝しています。ありがとうございました。



優勝 村上貴之(74kg級)



3位 馬場貴大(96kg級)

3年雲仙学習合宿

卒業生も来てくれました

1日11時間以上の学習も
懸命に取り組みました

各教科の先生へ質問



【3学年主任 吉田 英雄】

28回目を迎えた雲仙学習合宿。「夏を征する者は受験を征す」を念頭に、今年度はより一層の学習効果を上げるため、例年より1泊増やして、8月17日～24日の7泊8日で実施しました。合宿の主な目的は、「自学自習の態度や習慣を身に付け、集中力・持久力を養う」ことです。長時間の自学は、日頃疎かになっている課題に直面することで、不足する知識を補い、理解を深め、実践力を向上させる絶好の機会です。参加した生徒は自分自身と必死に戦い、自己の学力向上に懸命に取り組みました。また、物理的・時間的制約があり、周りへの配慮が必要な集団生活を送ることで、学習とはまた別の面で、多くのことを学んだようです。

生徒の感想にも、「勉強が楽しくなってきた」、「集中力・忍耐力が高まった」、「時間の大切さを再認識した」、「TV・携帯・お菓子がなくても何も不自由ない」、「友達の頑張る姿に励まされた」、「学校でも質問しようと思った」、「この経験をムダにしたいくない」、「合宿に送り出してくれた両親に感謝したい」などの感想があり、得たものは大きかったようです。

雲仙学習合宿で浮き彫りになった各自の課題解決に向けて、なお一層の努力を行い、全員が志望校合格を果たしてくれることを期待しています。

理数科2年研修旅行



【2-7担任 吉永 真二】

理数科2年生は8月3日～5日の3日間崇城大学にて研修を行いました。今年度は工学部・薬学部・生命科学部の3学部にて7講座の研修をしていただきました。どの講座も生徒の興味を引くとても面白くまた大学での授業や研究がどういうものか実感できるような研修ばかりで生徒は熱心に研修に取り組んでいました。2日目の研修後には空港キャンパスにて宇宙航空システム工学科の実習施設を見学することができました。さらにプロペラ飛行機のコックピットに乗るなど日頃体験できないことが数多く経験することができいい思い出になるとともに今後の進路を決定する上で大いに参考になりました。この3日間で生徒は多くのことを学びさらに理系分野に興味関心が高くなり有意義な時間を過ごすことができました。

<生徒の感想>

【2-7 亀田玲奈】



崇城大学での3日間は私にとって忘れられない3日間になりました。私が特に印象に残っているのは応用生命科学科の研修です。人工細胞膜を用いた副作用のない制ガン剤の講義では、人工細胞膜は正常な細胞を殺すことなくガン細胞だけにアポトーシスを誘導するので副作用がなくすごいなあと思いました。また、この研修を通して大学生への憧れも強くなり、大学の講義が理解できるように今学習している内容をきちんと理解していきたいと思いました。崇城大学での研修は私にとって有意義なものとなりました。機会があったらまた研修に参加してみたいです。

9月の主な行事予定

- 1日(火) 始業式
- 2日(水) 代休(9/5)
- 3日(木) 体育祭予行
- 5日(土) 体育祭準備
- 6日(日) **第61回体育祭**
- 7日(月) 代休(9/6)
- 9日(水) **文化祭**
- 15日(火) 進路講演会(2年)
- 18日(金) 中間考査時間割発表(1・2年)
学年末考査時間割発表(3年)
- 19日(土)～20日(日) 3年進研M模試
- 19日(土) 土曜講座(1・2年)
- 25日(金) 前期補習終了
- 26日(土) 土曜講座(全学年)
- 30日(水) **学年PTA**
- 30日(水)～10月2日(金) 中間考査(1・2年)
- 30日(水)～10月5日(月) 学年末考査(3年)



雨天時は
9月7日(月)



文化祭のご案内

【名称】島高文化祭2009
 【日時】9月9日(水)
 9:30～
 【場所】島原文化会館(全館)
 【テーマ】「Show」

文化部各部によるステージ発表や展示・実演が行われます。
 また、特別企画「壁画」(全校生徒で制作しました)もあります。
 是非、足をお運びください。

9/30(水) 学年PTA

※島高の新たな取り組みです。学年・クラスの結束を深めましょう。
 (詳細は、後日、文書でお知らせします)

平和学習の取り組み

【教務部 坂本 康】

8月9日(日)に今年も平和学習を実施しました。まず、全校生徒で都市爆撃に関するドキュメンタリーを鑑賞し、日本各地が爆撃の被害を受け、多くの一般市民が犠牲になったことを学習しました。続けて行われた島高ピースフォーラムでは、本村晋一郎先生の講話のあと、生徒会による「平和宣言」の朗読、黙祷を行いました。この平和宣言は、平和に関する正しい知識と高い関心を持ち、平和な社会を身近な場所から築いていくことを誓うものです。

【生徒感想】

「8月9日は、日本人として長崎県民として、絶対に風化させてはならない日だと思う。」(3年女子)
 「戦争は昔のことではない。まだ多くの人が傷ついていると感じた。」(1年女子)

インターハイ・織文祭の結果

〇レスリング部

団体戦 ベスト16
 個人戦 74kg級 村上貴之 **優勝**
 96kg級 馬場貴大 **第3位**
 吉田拓郎・原田駿・松尾耕大 2回戦敗退
 松本喜朗 1回戦敗退

〇剣道部

男子団体 予選敗退 個人 大坪学嗣 3回戦敗退
 女子団体 **優勝** 個人 小森田渚 **準優勝**

〇陸上部

男子400m 徳永将勝 予選敗退

〇ソフトテニス部男子

団体 2回戦敗退 個人 平川・森崎組 1回戦敗退

〇ソフトテニス部女子

個人 和田・荒木組 1回戦敗退

〇弓道部男子

団体 予選敗退 個人 金本祥那 予選敗退

〇囲碁

3勝3敗 29位

その他の全国大会結果

〇剣道部 玉竜旗

女子団体 **優勝** 男子団体 **第3位**

〇放送部 NHK杯全国高校放送コンテスト

吉田桃子 入選(準決勝進出)

〇囲碁 全国高校囲碁選手権大会

予選リーグ敗退